

INON

クローズアップレンズ

UCL-165AD

使用説明書

安全上のご注意

- ご使用の前に「安全上のご注意」(本書)と別冊の使用説明書をよくお読みの上、正しく製品をお使い下さい。お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管して下さい。
- この注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止する為に、重要な内容を記載しています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。



警告

下記の注意事項を守らないと、**死亡**または**重傷**の原因となる可能性が想定されます

レンズ単体、または、レンズを付けたカメラで、太陽や強い光源を見ない

理由：視力に回復不可能な程の傷害をきたすおそれがあります。

理由：一時的な視力障害となり、安全に関わる作業の遂行が困難になるおそれがあります。

直射日光のあたる場所に放置しない

理由：太陽光が集光され、火災の原因となる恐れがあります。

INON

イノ 水中クロスアップレンズ UCL-165AD

イノ製品のお買い上げ有難う御座います。

イノ 水中クロスアップレンズ UCL-165AD は、対応するデジタルカメラハウジングのポートレンズ 前面に、弊社取り付けオプションを介して取り付けるだけで、手軽に高倍率撮影が可能となる、水中脱着可能なアタッチメントレンズです。

取り付けには、ご使用のデジタルカメラハウジングに対応する AD/28AD マウントベース、28AD ポート、オプション等が別途必要となります。

製品の主な特徴

- 本製品の使用により、最短撮影距離が短縮される為、被写体に接近する事が出来、高倍率/近接撮影が可能となります。また、水陸両用設計ですので、水中/陸上どちらのご使用の際にも、同等の性能を発揮します。
- レンズ構成は 2 群 2 枚。両凸レンズ 1 枚構成の物と比べ、各収差を良好に押えました。また、内側にコーティングが施された高性能光学ガラスレンズを採用し、マスターレンズの性能を引き出します。
- 取り付け部規格にイノ AD マウントを採用。簡便/迅速な着脱を可能としています。また、本製品を複数つなげて、更なる近接撮影が出来る様、レンズ 前面にはジョイント用の AD マウントを装備しています。

製品内訳

- ・ 水中クロスアップレンズ UCL-165AD 本体
- ・ レンズ キャップ (対物側用×1/カメラ側用×1)
- ・ レンズ 内ゴースト緩和シール (同梱製品)
- ・ 使用説明書 (本書)

対応カメラハウジング、

AD/28AD マウントベース、
28AD ポート

(2005 年 6 月現在)

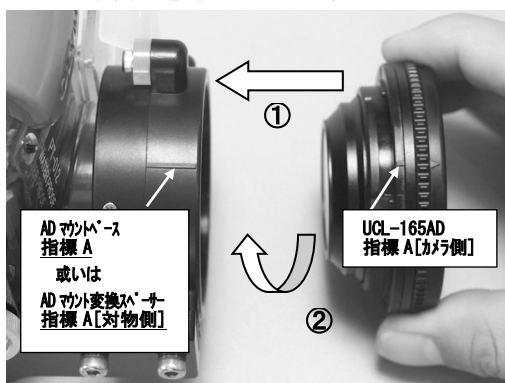
- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| ・ キヤノン WP-DC40 | + イノ 28AD マウントベース・DC40 (★) |
| ・ キヤノン WP-DC900/50 | + イノ AD マウントベース・DC900/50 |
| ・ キヤノン WP-DC800 | + イノ AD マウントベース・DC800 |
| ・ キヤノン WP-DC700/WP-DC30 | + イノ AD マウントベース・DC700/30 |
| ・ キヤノン WP-DC300 | + イノ AD マウントベース・DC300 |
| ・ キヤノン WP-DC200/WP-DC200s | + イノ AD マウントベース・DC200/200s |
| ・ キヤノン WP-DC100/WP-DC500 | + イノ AD マウントベース・DC100/500 |
| ・ オリンパス PT-027 | + イノ 28AD ポート・PT-027/020 (★) |
| ・ オリンパス PT-026 | + イノ AD マウントベース・PT-026 |
| ・ オリンパス PT-024 | + イノ AD マウントベース・PT-024 |
| ・ オリンパス PT-016 | + イノ AD マウントベース・PT-016 |
| ・ オリンパス PT-014 | + イノ AD マウントベース・PT-014 |
| ・ オリンパス PT-012 | + イノ AD マウントベース・PT-012 |
| ・ ニコン WP-CP4/2 | + イノ AD マウントベース・CP4/2 |
| ・ ニコン WP-CP1 | + イノ AD マウントベース・CP1 |
| ・ 富士写真フイルム WP-FX701 | + イノ AD マウントベース・FX701 |
| ・ ソニー MPK-PHB | + イノ AD マウントベース・PHB |

★: ご使用の際には、別途「AD マウント変換スパー for UCL-165AD」が必要となります。

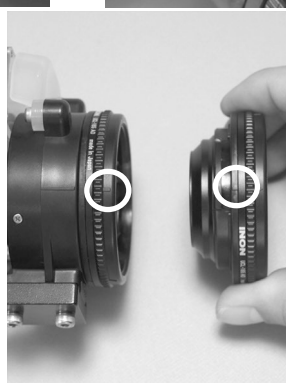
また、この組み合わせでご使用の場合には、ズームワイド端ではケラが発生しますので、撮影後にケラをクロップするか、ワイド端からケラがなくなるまでズームしてご使用下さい。

取り付け方法

- ・ 本製品の『指標 A[カメラ側]』を、「AD マウントベース」の『指標 A』、或いは「AD マウント変換スパー for UCL-165AD」の『指標 A[対物側]』と合わせ、差し込みます。
- ・ 本製品の『指標 A[カメラ側]』が、「AD マウントベース」、或いは「AD マウント変換スパー for UCL-165AD」の『指標 B』と合うまで、本製品を時計方向に回転させます。『ガッ』と音がしてクリック感が伝わって来れば取り付け完了です。



- ・ 複数枚使用時も同様に、既に取り付け済みの本製品の『指標 A[対物側]』を、「AD マウントベース」の『指標 A』、或いは「AD マウント変換スパー for UCL-165AD」の『指標 A[対物側]』と読み替えて取り付けを行って下さい。



- ・ ハウジング 前面のレンズと本製品の間に空気が入らぬ様、水中で取り付けを行う、或いは、水中で一旦取り外し、取り付け直す事をお勧めします。

使用上の注意

- ・ 一般に、クロスアップレンズは、カメラの最短撮影距離を短く（マスターレンズとの合成焦点距離を短く）する為の物です。本製品を取り付ける事により、被写体に更に接近し、拡大して撮る事が出来る半面、画角、絞り値によっては、遠方の被写体にピントを合わせる事が出来なくなります。ご注意ください。
また、カメラ単体での最短撮影距離が短い場合、本製品を取り付けた場合にも、カメラ単体でのご使用時より被写体に接近出来ず、『被写体を大きく撮影する』という効果が殆ど現れず、『最短撮影距離での撮影が不可能なズーム位置での撮影距離を短縮する』、或いは『カメラをマクロモードに設定する事なく、最短撮影距離を短縮する』といった効果のみとなる場合もあります。ご留意下さい。
- ・ ご使用後、レンズ面に水滴（海水/真水共に）を残したまま放置したり、レンズキャップを取り付けたり、濡れたままのキャリングポーチ等にしまわないで下さい。コーティングやガラス自体の劣化による、シミ/竹等の原因となります。軽度のシミ/竹は撮影に支障を来たしませんが、重度の場合は問題となる可能性があり、修理をご希望の際には、有償でのレンズ交換となります。
- ・ 使用ハジメ、撮影距離、画角等の撮影条件によっては、内蔵ストロボ光がケラれますので、外部ストロボを使用しない場合は、自然光のみでの撮影を行い、カメラ内蔵ストロボを“発光禁止”に設定する事をお勧めします。
外部ストロボを使用した撮影を行う場合には、対応する外部ストロボ（弊社 D-2000 等）を、弊社「クリアフォトシステム」を使用して接続する事をお勧めします。
クリアフォトシステムを使用しない事により、撮影可能なシチュエーションに制限が生じたり、得られる画像に問題点が発生する場合があります。ご留意下さい。詳細は本頁末の囲み記事をご確認下さい。
カメラレンズ前面周辺部の反射に起因するフレア/ゴースト等につきましては、同梱の「レンズ内ゴースト緩和シール」をご使用頂く事で緩和可能な場合があります。使用方法等詳細は、該シール付属の使用説明書をご参照下さい。
- ・ 本製品の被写体側に増設可能なアタッチメントレンズは、本製品（UCL-165AD）のみとなります。本製品以外の AD/28AD マウントシリーズアタッチメントレンズを増設する事は出来ません。
- ・ 本製品を複数重ねてご使用の場合、ケラが生じる場合があります。ご注意ください。
- ・ 一般的にアタッチメントレンズを複数重ねるに従い、徐々に画質が低下する事が知られています。
- ・ 本製品を分解しないで下さい。故障や浸水の原因となります。
- ・ ポートなどの激しい振動や大きな衝撃をレンズに与えないで下さい。故障や浸水の原因となります。
- ・ 不用意に直射日光の当たる場所に放置しないで下さい。太陽光が集光され、火災の原因となる場合があります。また、レンズを通して太陽を見ないで下さい。目に損傷を受ける可能性が有ります。
- ・ 砂浜や船のデッキ上など、強い直射日光の当たる場所や、炎天下の自動車内など、高温となる場所に放置しないで下さい。故障や浸水の原因となります。
- ・ 脱着時や持ち運びの際、思わぬ衝撃等が加わる事を防止する為、オプションのキャリングポーチに収納して持ち運んで頂く事をお勧めします。

メンテナンスについて

- ・ ご使用後は、必ず「AD マウントベース」、或いは「AD マウント変換アダプター for UCL-165AD」から取り外し、真水中（30℃以下）に数時間静置して塩分等を除いた後、砂等で汚れていないタオルなどで、特にレンズ面を傷付けぬ様に水滴を軽く拭取った後、直射日光の当たらない、風通しの良い場所に置き、よく乾燥させて下さい（完全乾燥には数日掛かります）。
- ・ 完全に乾燥させた後に、直射日光の当たらない、風通しの良い場所で保管して下さい。樟脳やナフタリン等の薬品雰囲気下や、高湿度下、温度変化の激しい場所等での保管は、故障や浸水、レンズ表面の変性やカビの発生等の原因となりますので、お止め下さい。
- ・ レンズ面に水滴を残したまま放置すると、シミ/竹等の原因となります。ご注意ください。

※ クリアフォトシステムを用いないで内蔵ストロボを発光させ、アタッチメントレンズをご使用の際には・・・

クリアフォトシステムを用いずに、アタッチメントレンズを取り付けた状態で内蔵ストロボを発光させた場合、撮影条件、カメラ/ハジメ/マウントベースの組み合わせ等によっては、得られる画像にゴースト/フレアが発生する可能性があります。

この現象は、透明なハジメを通過したり、レンズポート内部を通過したりした内蔵ストロボ光が、アタッチメントレンズのハジメ取り付け部側から進入/反射し、有害光として写り込む事に起因します。このような現象が発生する場合には、クリアフォトシステムを用いた外部ストロボ増灯をお勧め致します。クリアフォトシステムを用いない内蔵ストロボのみでの撮影はお勧め致しません。止むを得ずクリアフォトシステムを用いないで、内蔵ストロボを発光させた状態での撮影を行われる場合には、アタッチメントレンズ取り付け部側からの有害光の進入を防ぐ様、注意深く遮光を行う事により、ゴースト/フレアの発生を低減出来る可能性があります。ご検討下さい。[この遮光作業を行う場合の該作業内容、及び該作業を行った事により万一生じた不具合、或いは該不具合に起因した（直接的/付随的）損害が発生した場合に於いても、弊社は一切その責任を負いかねます。ユーザー様ご自身の「自己責任」での作業となる事をご確認下さい]

- オプションについて :
- ・ キャリングポーチ for UCL-330 ￥2,000-
ウエットスーツと同じ材質（PVC）製の、水中使用が可能なキャリングポーチです。当ポーチに収納したまま持ち運んで頂く事で、思わぬ衝撃等が加わる事を防止する事が出来ます。
 - ・ AD レンズ ホルダー ￥3,800-
イノン アーム/グリップ ベースDⅡ/グリップ ベースDⅢに取り付け可能な、AD マウントシリーズ レンズ 専用のレンズホルダーです。レンズハンドリングを容易にして、特に複数のレンズを使用する際の迅速なレンズ交換を実現します。
 - ・ AD マウント変換アダプター for UCL-165AD ￥1,200-
イノン 28AD マウントベース、及び 28AD ポートに、本製品の取り付けを可能とする、専用のマウント変換アダプターです。



イノン 水中クロスアップレンズ	UCLシリーズ
主要性能(※)	
タイプ	UCL-165AD
外径	φ 64.5mm
全長	27.7mm
マウント規格	イノンADマウント
重量(陸上 / 水中)	70g / 約35g
実用耐水深	60m
本体材質 / 表面処理	耐蝕アルミ合金/硬質黒アルマイト、PC
硝材 / 表面処理	光学ガラス / 内面コーティング
光学系	2群2枚
焦点距離(陸上 / 水中)	135.4mm / 165mm(※※)

※ 性能、価格等、予告なしに変更する場合があります。予めご了承下さい。

※※ UCL-165AD 単体の焦点距離。マスターレンズとの合成焦点距離を示すものではありません。

有限会社 イノン

〒247-0061

神奈川県鎌倉市台 2-18-9

Tel. 0467-48-2174

Fax. 0467-48-2178

E-mail support@inon.co.jp

URL <http://www.inon.co.jp/>

2005 年 6 月

イノン水中クロスアップレンズ UCL-165AD は、「水中デジタルカメラプロジェクト(UWDIGICAM.ORG)」の協力を得て、開発を行いました。
UWDIGICAM.ORG の活動に関する詳細、お問合せ先等に付きましては、<http://www.uwdigicam.org/> をご参照下さい。